

伊達市は、近年、木材市況の低迷や、少子・高齢化等による林業労働力の減少等から、適正な管理が行われていない森林が増加してきている。このような状況を打開し、本市の林業の活性化を図るために、森林環境譲与税の一部を活用し、令和２年度においては、以下の取組を実施した。

- ・森林資源を有効に、利活用できるように、意向調査準備事業の実施。
- ・森林整備及びその促進に必要な事業に要する経費の財源にあてるため、基金として積立。

□ 事業内容

1 森林経営管理法に基づく意向調査準備業務事業

①予備調査

伊達市森林整備計画等の資料を収集し対象地域の状況把握

②森林情報確認業務

不在村森林所有者の有無等について調査し、地区選定のための情報把握

③対象区域設定

森林の整備状況や面積のまとまりなどを考慮し、意向調査を実施する順位の設定
など

【事業費】 6,490千円（うち譲与税6,490千円）

【実績】 ①、②は伊達市一円

③令和３年度以降の意向調査の優先順位を決定

2 伊達市森林環境譲与税基金条例に基づく基金事業

森林整備及びその促進に必要な事業に要する経費の財源にあてるため、基金として積立。

【事業費】 8,640千円（うち譲与税8,640千円）

【実績】 基金額8,640千円

□ 事業スキーム

- 1 森林経営管理法に基づく意向調査準備業務委託



□ 工夫・留意した点

- ・意向調査準備の業務を進める上で、施業履歴を管理し、活用している業者選定を行った。
- ・コロナウィルスの影響で、当初企画していた事業を中止した。

□ 基礎データ

①令和２年度譲与額	15,130千円
②私有林人工林面積（※１）	3,188ha
③林野率（※２）	49.9%
④人口（※３）	62,400人
⑤林業就業者数（※４）	23人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※２：「2015農林業センサス」より、※３、４：「H27年国勢調査」より